

対象校No. 1032
注4

学校コード F140310110767
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
日本経済大学 経営学部 デジタルビジネス・マネジメント学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人 都築育英学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	経営学部 東京渋谷キャンパス
職名・氏名	キャンパス長 ^{チョウ} ・古賀 ^{コガ} 郁人 ^{イクト}
電話番号	03-3463-4112 (内線508)
(夜間)	090-5405-8941
e-mail	ikutokoga@fk.jue.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

経営学部

＜デジタルビジネス・マネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教育研究実施組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22
8. 添付資料	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 都築育英学園

(2) 大 学 名

日本経済大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒150-0031

東京都渋谷区桜丘町24-5

(〒818-0197 福岡県太宰府市五条3-11-25)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学 長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学 部 長	(アカセ トモヒデ) 赤瀬 朋秀 (平成28年4月)		
学科長等	(カナヤ タケアキ) 金谷 武明 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 デジタルビジネス・マネジメント学科 学士(経営学)	経済学関係 経済学関係	4年	80人	2年次0人 3年次0人 4年次0人	320人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	80人	人				
	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]				
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	33 [4]	(-) []				
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	32 [4]	(-) []				
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	20 [3]	(-) []				
B 入学人数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	13 [2]	(-) []				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.16	-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
・ 「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・ (5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	13 [2] (－)	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	人	人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	人	人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	13 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 デジタルビジネスマネジメント学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 等 の 配 置 を 除 く （ 助 手 以 外 ）	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎科目 語学系	英語ⅠA	1前			2								1
	英語ⅠB	1後			2								1
	英語ⅡA	1前			2				1				
	英語ⅡB	1後			2				1				
	英語ⅢA	1前			2					1			
	英語ⅢB	1後			2					1			
	英語ⅣA	2前			2					1			
	英語ⅣB	2後			2					1			
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前			2				1				
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後			2				1				
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前			2				1				
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後			2				1				
	韓国語ⅠA	1前			2			2					1
	韓国語ⅠB	1後			2			2					1
	韓国語ⅡA	2前			2			2					1
	韓国語ⅡB	2後			2			2					1
	中国語ⅠA	1前			2								1
	中国語ⅠB	1後			2								1
	中国語ⅡA	2前			2				1				
	中国語ⅡB	2後			2				1				
	ドイツ語ⅠA	1前			2			1					
	ドイツ語ⅠB	1後			2			1					
	ドイツ語ⅡA	2前			2			1					
	ドイツ語ⅡB	2後			2			1					
	フランス語ⅠA	1前			2			1					
	フランス語ⅠB	1後			2			1					
	フランス語ⅡA	2前			2			1					
	フランス語ⅡB	2後			2			1					
	スペイン語ⅠA	1前			2								1
	スペイン語ⅠB	1後			2								1
	スペイン語ⅡA	2前			2								1
	スペイン語ⅡB	2後			2								1
	ロシア語ⅠA	1前			2								1
	ロシア語ⅠB	1後			2								1
	ロシア語ⅡA	2前			2								1
	ロシア語ⅡB	2後			2								1
基礎科目 教養科目	哲学Ⅰ	1前			2		1						
	哲学Ⅱ	1後			2		1						
	心のしくみと行動の科学	1前			2								1
	日本史Ⅰ	1前			2								1
	日本史Ⅱ	1後			2								1
	西洋史Ⅰ	1前			2								1
	西洋史Ⅱ	1後			2								1
	東洋史Ⅰ	1前			2								1
	東洋史Ⅱ	1後			2								1
	文学をよむ文化を知る	1後			2								1
	ビジネスライティング（文章表現）	1前			2			1					
	倫理学Ⅰ	1前			2		1						
	倫理学Ⅱ	1後			2		1						
	地理学Ⅰ	1前			2								1
	地理学Ⅱ	1後			2								1
	社会学概論	1後			2			1					
	政治学Ⅰ	1前			2								1
政治学Ⅱ	1後			2								1	
くらしと法	1前			2				1					

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 等 (助 手 を 除 く)	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎科目 語学系	英語ⅠA	1前			2								1
	英語ⅠB	1後			2								1
	英語ⅡA	1前			2				1				
	英語ⅡB	1後			2				1				
	英語ⅢA	1前			2					1			
	英語ⅢB	1後			2					1			
	英語ⅣA	2前			2					1			
	英語ⅣB	2後			2					1			
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前			2					1			
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後			2					1			
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前			2					1			
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後			2					1			
	韓国語ⅠA	1前			2			2					1
	韓国語ⅠB	1後			2			2					1
	韓国語ⅡA	2前			2			2					1
	韓国語ⅡB	2後			2			2					1
	中国語ⅠA	1前			2								1
	中国語ⅠB	1後			2								1
	中国語ⅡA	2前			2					1			
	中国語ⅡB	2後			2					1			
	ドイツ語ⅠA	1前			2								1
	ドイツ語ⅠB	1後			2								1
	ドイツ語ⅡA	2前			2								1
	ドイツ語ⅡB	2後			2								1
	フランス語ⅠA	1前			2			1					
	フランス語ⅠB	1後			2			1					
	フランス語ⅡA	2前			2			1					
	フランス語ⅡB	2後			2			1					
	スペイン語ⅠA	1前			2								1
	スペイン語ⅠB	1後			2								1
	スペイン語ⅡA	2前			2								1
	スペイン語ⅡB	2後			2								1
	ロシア語ⅠA	1前			2								1
	ロシア語ⅠB	1後			2								1
	ロシア語ⅡA	2前			2								1
	ロシア語ⅡB	2後			2								1
基礎科目 教養科目	哲学Ⅰ	1前			2								1
	哲学Ⅱ	1後			2								1
	心のしくみと行動の科学	1前			2								1
	日本史Ⅰ	1前			2								1
	日本史Ⅱ	1後			2								1
	西洋史Ⅰ	1前			2								1
	西洋史Ⅱ	1後			2								1
	東洋史Ⅰ	1前			2								1
	東洋史Ⅱ	1後			2								1
	文学をよむ文化を知る	1後			2								1
	ビジネスライティング(文章表現)	1前			2					1			
	倫理学Ⅰ	1前			2								1
	倫理学Ⅱ	1後			2								1
	地理学Ⅰ	1前			2								1
	地理学Ⅱ	1後			2								1
	社会学概論	1後			2					1			
	政治学Ⅰ	1前			2								1
	政治学Ⅱ	1後			2								1
くらしと法	1前			2					1				

コ ー ス 専 門 科 目	デザインシンキング論	2後		2						1	
	ビジネスフレームワーク演習	2後		2				1			
	データマーケティング論	2後		2		1					
	テキストマイニング論	2後		2					1		
	ベンチャービジネス概論	2後		2						1	
	情報処理論A	2前		2		1					
	情報処理論B	2後		2		1					
	情報セキュリティ	2後		2		1					
	プログラミングA	2前		2					1		
	プログラミングB	2後		2					1		
	ディープラーニングA	2前		2					1		
	ディープラーニングB	2後		2					1		
	ビッグデータ分析A	2前		2		1					
	ビッグデータ分析B	2後		2		1					
	グラフィックデザイン演習	2後		2						1	
	プレゼンテーション演習	3前		2		1					
	UI/UX論	3後		2			1				
	データサイエンティスト演習ⅠA	3前		2					1		
	データサイエンティスト演習ⅠB	3後		2					1		
	デジタルコンテンツ演習ⅠA	3前		2					1		
	デジタルコンテンツ演習ⅠB	3後		2					1		
小計(80科目)	知的財産管理	3前		2						1	
	空間情報学	3後		2						1	
	データサイエンティスト演習ⅡA	4前		2						1	
	データサイエンティスト演習ⅡB	4後		2						1	
	デジタルコンテンツ演習ⅡA	4前		2					1		
	デジタルコンテンツ演習ⅡB	4後		2					1		
	合計(148科目)	-		22	140	0	15	2	5	0	13
	卒業要件及び履修方法										
	(記入例)										
	必修科目24単位、専門基礎科目の選択科目から22単位、専門応用科目の選択科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：44単位(年間))										

コ ー ス 専 門 科 目	デザインシンキング論	2後		2							1
	ビジネスフレームワーク演習	2後		2						1	
	データマーケティング論	2後		2		1					
	テキストマイニング論	2後		2							1
	ベンチャービジネス概論	2後		2							1
	情報処理論A	2前		2		1					
	情報処理論B	2後		2		1					
	情報セキュリティ	2後		2		1					
	プログラミングA	2前		2						1	
	プログラミングB	2後		2						1	
	ディープラーニングA	2前		2						1	
	ディープラーニングB	2後		2						1	
	ビッグデータ分析A	2前		2		1					
	ビッグデータ分析B	2後		2		1					
	グラフィックデザイン演習	2後		2		1					
	プレゼンテーション演習	3前		2		1					
	UI/UX論	3後		2					1		
	データサイエンティスト演習ⅠA	3前		2						1	
	データサイエンティスト演習ⅠB	3後		2						1	
	デジタルコンテンツ演習ⅠA	3前		2		1					
	デジタルコンテンツ演習ⅠB	3後		2		1					
小計(80科目)	知的財産管理	3前		2							1
	空間情報学	3後		2							1
	データサイエンティスト演習ⅡA	4前		2		1					
	データサイエンティスト演習ⅡB	4後		2		1					
	デジタルコンテンツ演習ⅡA	4前		2		1					
	デジタルコンテンツ演習ⅡB	4後		2		1					
	合計(148科目)	-		22	140	0	13				
	卒業要件及び履修方法										
	(記入例)										
	必修科目24単位、専門基礎科目の選択科目から22単位、専門応用科目の選択科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：44単位(年間))										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く))(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例：記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・令和6年4月に金谷武明教授が就任のため、「S. D. SeminarA」、「S. D. SeminarB」を担当。
- ・令和6年4月に押久保政彦講師就任のため、「知的財産管理」を担当。
- ・辻本政雄准教授辞任のため、「経済学A」、「経済学B」を小林和馬講師へ、「環境と社会生活」を海上知明講師に変更。
- ・望月洋佑准教授辞任のため、「数字でよみとくビジネス」を山本絢子講師へ変更。
- ・海棠助教辞任のため、「情報リテラシーⅠ（ビジネススキル）」、「情報リテラシーⅡ（AI・データサイエンス）」を寺岡幸二准教授と馬場建至講師に変更し、「情報リテラシーⅠ（ビジネススキル）」、「情報リテラシーⅡ（AI・データサイエンス）」「情報リテラシーⅢ（コンテンツ基礎）」、「情報リテラシーⅣ（コンテンツ応用）」を福島綾一教授に変更。
- ・天野雅貴講師辞任により、「動植物の体のしくみ」を跡部秀之講師に変更。
- ・カルロスアルバロベルチリ講師辞任により、「スペイン語ⅠA」、「スペイン語ⅠB」、「スペイン語ⅡA」、「スペイン語ⅡB」をペロニカリエスコエルナンデス講師に変更。
- ・佐藤一明講師辞任により、「政治学Ⅰ」、「政治学Ⅱ」を松本尚子講師に変更。
- ・續訓美教授辞任により、「哲学Ⅰ」、「哲学Ⅱ」、「倫理学Ⅰ」、「倫理学Ⅱ」を米田祐介講師に、「ドイツ語ⅠA」、「ドイツ語ⅠB」、「ドイツ語ⅡA」、「ドイツ語ⅡB」を松本尚子講師に変更。
- ・時間割編成上の理由により、江尻俊章教授が「Webサイト作成A」、「Webサイト作成B」を担当。
- ・時間割編成上の理由により、寺岡幸二准教授が「デジタルビジネス概論」を担当。
- ・時間割編成上の理由により、川上恭子講師が「情報リテラシーⅢ（コンテンツ基礎）」、「情報リテラシーⅣ（コンテンツ応用）」を担当。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
11 科目	137 科目	0 科目	148 科目	11 科目 []	137 科目 []	0 科目 []	148 科目 []	（記入例：指定規則の場合） 【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計（A）○科目 変更状況：必修○科目、選択○科目、自由○科目、 計○科目

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今後未開講又は廃止科目が発生した場合の「学生への周知方法」については、年度初めの履修ガイダンス時および学生掲示板、大学が学生個々に付与しているメールアドレスに直接メールをすることで周知徹底を図る。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{148} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
校 地 等	校 舎 敷 地	93,470.90㎡ 86,057.70㎡	7,229.03㎡	0㎡	100,699.93㎡ 94,186.73㎡	大学全体 最新の数値を記入		
	そ の 他	48,136.84㎡	10,000.00㎡	0㎡	58,136.84㎡			
	合 計	141,607.74㎡ 135,094.54㎡	17,229.03㎡	0㎡	158,836.77㎡ 152,323.57㎡			
(2)	校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		50,525.35㎡ 48,367.10㎡ (50,525.35㎡) (48,367.10㎡)	386.00㎡ (386.00㎡)	0㎡ (0㎡)	50,911.35㎡ 48,753.10㎡ (50,911.35㎡) (48,753.10㎡)	大学全体 最新の数値を記入		
(3)	教室・教員研究室	教 室	36室	教員研究室	8	東京渋谷キャンパス全体		
(4)	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標 本 点	
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕			
図 書 ・ 設 備	経営学部 デジタルビジネス ・マネジメント学科	56,410 [17,921] 55,243 [17,593] (55,910 [17,821]) (55,243 [17,593])	262 [0] 158 [0] (187 [0]) (156 [0])	48 [17] (48 [17])	1,000 [1,000] (1,000 [1,000])	21 (21)	0 0	
	計	56,410 [17,921] 55,243 [17,593] (55,910 [17,821]) (55,243 [17,593])	262 [0] 158 [0] (187 [0]) (156 [0])	48 [17] (48 [17])	1,000 [1,000] (1,000 [1,000])	21 (21)	0 (0)	
(5)	スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂	厚生補導施設		東京渋谷キャンパス全体	
		669㎡		0㎡	22㎡			
(6)	経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当り 研究費等	200千円	200千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円
		共 同 研 究 費 等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	10,000千円	0千円	0千円
		学生 1 人 当り	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次
		納付金	1,750千円 1,093千円	1,550千円 903千円	1,550千円 903千円	1,550千円 903千円	千円	千円
		学生納付金以外の維持方法の概要	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名	日 本 経 済 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
経済学部(合計)	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
経済学科	4	160	—	640	学士(経済学)	1.25	1.22	—	昭和43	福岡県太宰府市五条3-11-25				
商学科	4	230	—	920	学士(経済学)	1.06	1.05	—	平成17	福岡県太宰府市五条3-11-25				
経営法学科	—	—	—	—	学士(経済学)	—	—	—	平成19	福岡県太宰府市五条3-11-25	令和3年度入学生より学生募集停止			
健康スポーツ経営学科	4	220	—	880	学士(健康スポーツ経営学)	0.76	0.75	—	平成24	同上				
経営学部(合計)		800		3,200		1.02	1.00							
経営学科	4	600	—	2,640	学士(経営学)	1.06	1.04	—	平成26	福岡県太宰府市五条3-11-25	令和5年度から入学定員変更(290→260)			
										東京都渋谷区桜丘町24-5				
											令和3年度から入学定員変更(490→390)			
											令和5年度から入学定員変更(390→420)			
											令和6年度から入学定員変更(420→340)			
グローバルビジネス学科	4	40	—	160	学士(経営学)	0.70	0.70		平成30	福岡県太宰府市五条3-11-25				
										東京都渋谷区桜丘町24-5				
芸創プロデュース学科	4	80	—	320	学士(経営学)	1.05	1.01			福岡県太宰府市五条3-11-25				
										東京都渋谷区桜丘町24-5				
デジタルビジネス・マネジメント学科	4	80	—	320	学士(経営学)	0.16	—	—	令和6	東京都渋谷区桜丘町24-5	令和6年度 開設			
大学全体	4	1410	—	5,640	—	1.01	0.99	—	—	—				

- (注) ・本調査の対象となっている大学短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6・7年度開設用) IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<経営学部 デジタルビジネスマネジメント学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

【令和7年度】

【令和8年度】

【令和9年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
その他	講師	金谷 武明 (54) <令和8年4月> 修士(メディアデザイン学) グラフィックデザイン演習 デジタルコンテンツ演習ⅠA デジタルコンテンツ演習ⅠB デジタルコンテンツ演習ⅡA デジタルコンテンツ演習ⅡB データサイエンティスト演習ⅡA データサイエンティスト演習ⅡB	基(主専)	教授	金谷 武明 (52) <令和6年4月> 修士(メディアデザイン学) グラフィックデザイン演習 デジタルコンテンツ演習ⅠA デジタルコンテンツ演習ⅠB デジタルコンテンツ演習ⅡA デジタルコンテンツ演習ⅡB データサイエンティスト演習ⅡA データサイエンティスト演習ⅡB S.D.SeminarA S.D.SeminarB									
基(主専)	教授	江尻 俊章 (51) <令和6年4月> 学士(経済学) デジタルビジネス概論 デジタルビジネス・イノベーション概論 デジタルビジネス・マーケティング論 データマーケティング論 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 卒業研究	基(主専)	教授	江尻 俊章 (51) <令和6年4月> 学士(経済学) デジタルビジネス・イノベーション概論 デジタルビジネス・マーケティング論 データマーケティング論 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 卒業研究 Webサイト作成A Webサイト作成B									
基(主専)	教授	今仁 武臣 (51) <令和6年4月> 博士(システムエンジニアリング学) 経営学A 経営学B デジタルビジネス・マネジメント特講A デジタルビジネス・マネジメント特講B デジタルビジネス起業論	基(主専)	教授	今仁 武臣 (51) <令和6年4月> 博士(システムエンジニアリング学) 経営学A 経営学B デジタルビジネス・マネジメント特講A デジタルビジネス・マネジメント特講B デジタルビジネス起業論									
基(主専)	教授	新井 隆司 (48) <令和7年4月> 学士(発達科学) 基礎ゼミA 基礎ゼミB デジタルビジネス・財務会計論 プレゼンテーション演習	基(主専)	教授	新井 隆司 (48) <令和7年4月> 学士(発達科学) 基礎ゼミA 基礎ゼミB デジタルビジネス・財務会計論 プレゼンテーション演習									
基(主専)	教授	門田 進一郎 (48) <令和7年4月> 修士(工学) デジタルビジネス・AI論 デジタルコマース概論 空間情報学 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 卒業研究	その他	講師	門田 進一郎 (49) <令和7年4月> 修士(工学) デジタルビジネス・AI論 デジタルコマース概論 空間情報学									
基(主専)	准教授	寺岡 幸二 (49) <令和6年4月> 学士(マネジメント) S.D.SeminarA S.D.SeminarB デジタルビジネス・組織論 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB UI/UX論	基(主専)	准教授	寺岡 幸二 (49) <令和6年4月> 学士(マネジメント) デジタルビジネス・組織論 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB UI/UX論 デジタルビジネス概論 情報リテラシーⅠ(ビジネススキル) 情報リテラシーⅡ(AI・データサイエンス)									
基(主専)	講師	千野根 陵 (39) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリング学) 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 卒業研究	基(主専)	講師	千野根 陵 (39) <令和6年4月> 修士(システムエンジニアリング学) 専門ゼミⅠA 専門ゼミⅠB 専門ゼミⅡA 専門ゼミⅡB 卒業研究									
基(主専)	講師	森 雅民 (45) <令和6年4月> 修士(商学) プログラミングA プログラミングB ディープラーニングA ディープラーニングB データサイエンティスト演習ⅠA データサイエンティスト演習ⅠB	基(主専)	講師	森 雅民 (45) <令和6年4月> 修士(商学) プログラミングA プログラミングB ディープラーニングA ディープラーニングB データサイエンティスト演習ⅠA データサイエンティスト演習ⅠB									
基(主専)	講師	馬場 建至 (44) <令和6年4月> 学士(経営学) S.D.SeminarA S.D.SeminarB デジタルサイエンス概論 基礎ゼミA 基礎ゼミB ビジネスフレームワーク演習	基(主専)	講師	馬場 建至 (45) <令和6年4月> 学士(経営学) デジタルサイエンス概論 基礎ゼミA 基礎ゼミB ビジネスフレームワーク演習 情報リテラシーⅠ(ビジネススキル) 情報リテラシーⅡ(AI・データサイエンス)									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名						
基(専他)	教授	赤瀬 朋秀 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（臨床薬学）	教授	赤瀬 朋秀 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（臨床薬学）												
		健康科学		健康科学												
基(専他)	教授	李 君在 (52) ＜令和6年4月＞ 修士（商学）	教授	李 君在 (52) ＜令和6年4月＞ 修士（商学）												
		韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB		韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB												
基(専他)	教授	エリック ロマン (60) ＜令和6年4月＞ 経営学修士	教授	エリック ロマン (60) ＜令和6年4月＞ 経営学修士												
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB 経営戦略論		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB 経営戦略論												
基(専他)	教授	金森 慶一 (64) ＜令和6年4月＞ 商学士	教授	金森 慶一 (64) ＜令和6年4月＞ 商学士												
		簿記入門 簿記初級		簿記入門 簿記初級												
基(専他)	教授	木下 義文 (63) ＜令和6年4月＞ 修士（国際情報）	教授	木下 義文 (63) ＜令和6年4月＞ 修士（国際情報）												
		リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB 経営組織論 リーダーシップⅡA リーダーシップⅡB		リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB 経営組織論 リーダーシップⅡA リーダーシップⅡB												
基(専他)	教授	金 在淑 (51) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	教授	金 在淑 (51) ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）												
		韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB		韓国語ⅠA 韓国語ⅠB 韓国語ⅡA 韓国語ⅡB												
基(専他)	教授	古賀 郁人 (58) ＜令和6年4月＞ 音声学博士（英国）	教授	古賀 郁人 (58) ＜令和6年4月＞ 音声学博士（英国）												
		ROSE（海外研修Ⅰ） ROSE（海外研修Ⅱ） ROSE（海外研修Ⅲ）		ROSE（海外研修Ⅰ） ROSE（海外研修Ⅱ） ROSE（海外研修Ⅲ）												
基(専他)	教授	鈴木 俊介 (57) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	教授	鈴木 俊介 (57) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）												
		社会学概論 ソーシャルメディアとコミュニケーション		社会学概論 ソーシャルメディアとコミュニケーション												
基(専他)	教授	高橋 文行 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（情報学）	教授	高橋 文行 (59) ＜令和6年4月＞ 博士（情報学）												
		情報処理論A 情報処理論B		情報処理論A 情報処理論B												
基(専他)	教授	竹田津 知子 (54) ＜令和6年4月＞ 文学士	教授	竹田津 知子 (54) ＜令和6年4月＞ 文学士												
		地域貢献Ⅰ 地域貢献Ⅱ		地域貢献Ⅰ 地域貢献Ⅱ												
基(専他)	教授	多田 稔 (62) ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）	教授	多田 稔 (62) ＜令和6年4月＞ 博士（経営学）												
		経営学A 経営学B		経営学A 経営学B												
基(専他)	教授	富村 洋一郎 (60) ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）	教授	富村 洋一郎 (60) ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）												
		スポーツ論		スポーツ論												
基(専他)	教授	西村 尚純 (63) ＜令和6年4月＞ 修士（経営学）	教授	西村 尚純 (63) ＜令和6年4月＞ 修士（経営学）												
		キャリアデザインⅡA キャリアデザインⅡB		キャリアデザインⅡA キャリアデザインⅡB												
基(専他)	教授	福島 綾一 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（工学）	教授	福島 綾一 (51) ＜令和6年4月＞ 修士（工学）												
		情報セキュリティ ビッグデータ分析A ビッグデータ分析B 情報リテラシーⅠ（ビジネススキル） 情報リテラシーⅡ（AI・データサイエンス） 情報リテラシーⅢ（コンテンツ基礎） 情報リテラシーⅣ（コンテンツ応用）														

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
基(専他)	教授	森下 あや子 (58) <令和6年4月> 博士(工学)	文系のための数学	基(専他)	教授	森下 あや子 (58) <令和6年4月> 博士(工学)	文系のための数学												
基(専他)	准教授	金 セイ (43) <令和6年4月> 修士(法学)	くらしと法 日本国憲法	基(専他)	准教授	金 セイ (43) <令和6年4月> 修士(法学)	くらしと法 日本国憲法												
基(専他)	准教授	ゴークレ ヘマンギ (40) <令和6年4月> 修士(金融) アメリカ ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB		基(専他)	准教授	ゴークレ ヘマンギ (40) <令和6年4月> 修士(金融) アメリカ ビジネスイングリッシュⅠA ビジネスイングリッシュⅠB ビジネスイングリッシュⅡA ビジネスイングリッシュⅡB													
基(専他)	准教授	徐 雪青 (48) <令和6年4月> 博士(比較文化) 英語ⅡA 英語ⅡB 中国語ⅡA 中国語ⅡB		基(専他)	准教授	徐 雪青 (48) <令和6年4月> 博士(比較文化) 英語ⅡA 英語ⅡB 中国語ⅡA 中国語ⅡB													
基(専他)	准教授	辻本 政雄 (54) <令和6年4月> 博士(商学) 環境と社会生活 経済学A 経済学B																	
基(専他)	准教授	増田 昌幸 (56) <令和6年4月> 博士(学術) スポーツ 人的資源管理論 知的財産管理		基(専他)	准教授	増田 昌幸 (56) <令和6年4月> 博士(学術) スポーツ 人的資源管理論													
基(専他)	准教授	望月 洋祐 (43) <令和6年4月> 修士(教育学) 数字でよみとくビジネス																	
基(専他)	准教授	山下 誠矢 (39) <令和6年4月> 修士(経営学) ビジネスライティング(文章表現)		基(専他)	准教授	山下 誠矢 (39) <令和6年4月> 修士(経営学) ビジネスライティング(文章表現)													
基(専他)	講師	鎌田 雅子 (44) <令和6年4月> 修士(大学経営) インターンシップ インターンシップ(実習) キャリアデザインⅢA キャリアデザインⅢB		基(専他)	講師	鎌田 雅子 (44) <令和6年4月> 修士(大学経営) インターンシップ インターンシップ(実習) キャリアデザインⅢA キャリアデザインⅢB													
基(専他)	講師	マクリーン ニカラス (43) <令和6年4月> 学士(カナダ史) カナダ 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅣA 英語ⅣB		基(専他)	講師	マクリーン ニカラス (43) <令和6年4月> 学士(カナダ史) カナダ 英語ⅢA 英語ⅢB 英語ⅣA 英語ⅣB													
基(専他)	助教	海 棠 (39) <令和6年4月> 修士(経営学) 情報リテラシーⅠ(ビジネススキル) 情報リテラシーⅡ(AI・データサイエンス) 情報リテラシーⅢ(コンテンツ基礎) 情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)																	
その他	准教授	落合 康裕 (51) <令和6年4月> 経営学博士 経営管理論A 経営管理論B		その他	准教授	落合 康裕 (51) <令和6年4月> 経営学博士 経営管理論A 経営管理論B													
その他	講師	天野 雅貴 (68) <令和6年4月> 農学博士 動植物の体のしくみ																	
その他	講師	岩成 祐樹 (37) <令和7年4月> 修士(通信システム工学) ソフトウェアプログラミング論		その他	講師	岩成 祐樹 (37) <令和7年4月> 修士(通信システム工学) ソフトウェアプログラミング論													
その他	講師	海上 知明 (64) <令和6年4月> 博士(経済学) 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ		その他	講師	海上 知明 (64) <令和6年4月> 博士(経済学) 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 環境と社会生活													

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
その他	講師	神野 智久 (38) <令和6年4月> 博士(言語文化学)	その他	講師	神野 智久 (38) <令和6年4月> 博士(言語文化学)									
		中国語ⅠA 中国語ⅠB			中国語ⅠA 中国語ⅠB									
その他	講師	カルロス アルバロベルチリ (41) <令和6年4月> 修士(言語学)	その他											
		スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB												
その他	講師	川上 恭子 (65) <令和6年4月> 学士(経営情報学)	その他	講師	川上 恭子 (65) <令和6年4月> 学士(経営情報学)									
		Webサイト作成A Webサイト作成B			Webサイト作成A Webサイト作成B 情報リテラシーⅢ(コンテンツ活用) 情報リテラシーⅣ(コンテンツ応用)									
その他	講師	佐藤 一明 (81) <令和6年4月> 法学士	その他											
		政治学Ⅰ 政治学Ⅱ												
その他	講師	軸屋 泰隆 (48) <令和7年4月> 修士(経営管理)	その他	講師	軸屋 泰隆 (48) <令和7年4月> 修士(経営管理)									
		デザインシンキング論			デザインシンキング論									
その他	講師	宗宮 邦裕 (71) <令和6年4月> 修士(教育学)	その他	講師	宗宮 邦裕 (71) <令和6年4月> 修士(教育学)									
		西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 東洋史Ⅰ 東洋史Ⅱ			西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 東洋史Ⅰ 東洋史Ⅱ									
その他	講師	滝本 祥子 (51) <令和6年4月> 修士(教育学)	その他	講師	滝本 祥子 (51) <令和6年4月> 修士(教育学)									
		心のしくみと行動の科学			心のしくみと行動の科学									
その他	講師	タンコヴィッチ ユリア (32) <令和6年4月> 修士(哲学)ロシア	その他	講師	タンコヴィッチ ユリア (32) <令和6年4月> 修士(哲学)ロシア									
		ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB			ロシア語ⅠA ロシア語ⅠB ロシア語ⅡA ロシア語ⅡB									
その他	講師	曹 恩美 (53) <令和6年4月> 博士(学術)	その他	講師	曹 恩美 (53) <令和6年4月> 博士(学術)									
		文学をよむ文化を知る			文学をよむ文化を知る									
その他	講師	出川 清一 (73) <令和6年4月> 教育学士	その他	講師	出川 清一 (73) <令和6年4月> 教育学士									
		地理学Ⅰ 地理学Ⅱ			地理学Ⅰ 地理学Ⅱ									
その他	講師	西 敏永 (29) <令和7年4月> 学士(文化情報)	その他	講師	西 敏永 (29) <令和7年4月> 学士(文化情報)									
		テキストマイニング論			テキストマイニング論									
その他	講師	野口 智代 (58) <令和6年4月> 学士(教育学)	その他	講師	野口 智代 (58) <令和6年4月> 学士(教育学)									
		英語ⅠA 英語ⅠB			英語ⅠA 英語ⅠB									
その他	講師	廣瀬 涼 (33) <令和7年4月> 修士(商学)	その他	講師	廣瀬 涼 (33) <令和7年4月> 修士(商学)									
		マーケティング論A マーケティング論B			マーケティング論A マーケティング論B									
その他	講師	三益 康平 (37) <令和6年4月> 博士(経済学)	その他	講師	三益 康平 (37) <令和6年4月> 博士(経済学)									
		ベンチャービジネス概論			ベンチャービジネス概論									
その他	講師	森田 光 (58) <令和6年4月> 学士(経済学)	その他	講師	森田 光 (58) <令和6年4月> 学士(経済学)									
		キャリアデザインⅠA キャリアデザインⅠB			キャリアデザインⅠA キャリアデザインⅠB									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
その他	講師	横 訓美 (65) <令和6年4月> 文学士												
		哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 倫理学Ⅱ ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB												
			その他	講師	米田 祐介 (44) <令和6年4月> 博士(文学)									
					哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ									
			その他	講師	松本 尚子 (38) <令和6年4月> 修士(敗州研究)									
					ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ									
			基(専他)	講師	押久保 敬彦 (62) <令和6年4月> 博士(技術経営)									
					知的財産管理									
			その他	講師	小林 和馬 (46) <令和6年4月> 博士(経済学)									
					経済学A 経済学B									
			その他	講師	ベロニカ リエスコ エルナン デス (44) <令和6年4月> ELE修士 スペイン									
					スペイン語ⅠA スペイン語ⅠB スペイン語ⅡA スペイン語ⅡB									
			その他	講師	山本 純子 (43) <令和6年4月> 実務教育修士(専門職)									
					数字でよみとくビジネス									
			その他	講師	勝部 秀之 (65) <令和6年4月> 学士(理学)									
					臨植物の体のしくみ									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。))を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**置可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
- ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
- ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

・令和6年4月に金谷武明教授が就任のため、「S. D. SeminarA」、「S. D. SeminarB」を担当。
・令和6年4月に押久保政彦講師が就任のため、「知的財産管理」を担当。
・辻本政雄准教授辞任のため、「経済学A」、「経済学B」を小林和馬講師へ、「環境と社会生活」を海上知明講師に変更。
・望月洋佑准教授辞任のため、「数字でよみとくビジネス」を山本絢子講師へ変更。
・海堂助教辞任のため、「情報リテラシーⅠ（ビジネススキル）」、「情報リテラシーⅡ（AI・データサイエンス）」を寺岡幸二准教授と馬場建至講師に変更し、「情報リテラシーⅢ（コンテンツ基礎）」、「情報リテラシーⅣ（コンテンツ応用）」を福島綾一教授に変更。
・天野雅貴講師辞任により、「動植物の体のしくみ」を跡部秀之講師に変更。
・カルロスアルバロベルチリ講師辞任により、「スペイン語ⅠA」、「スペイン語ⅠB」、「スペイン語ⅡA」、「スペイン語ⅡB」をペロニカリエスコエルナンデス講師に変更。
・佐藤一明講師辞任により、「政治学Ⅰ」、「政治学Ⅱ」を松本尚子講師に変更。
・續訓美教授辞任により、「哲学Ⅰ」、「哲学Ⅱ」、「倫理学Ⅰ」、「倫理学Ⅱ」を米田祐介講師に、「ドイツ語ⅠA」、「ドイツ語ⅠB」、「ドイツ語ⅡA」、「ドイツ語ⅡB」を松本尚子講師に変更。

【令和7年度】

【令和8年度】

【令和9年度】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。
- 原則としてAC教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**
- なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、AC教員審査を受審する必要があります。）
- ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

- (注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数(α)	うち、完成年度時における 設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数(α)の4 分の3以上)
8 名	4 名	6 名

- (注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主)専」)及び 「基(専)」の計 (A')	助手 (A'')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主)専」)及び 「基(専)」の計 (B')	助手 (B'')
4	1	3	0	8	8	0	3	1	3	0	7	7	0
(3)	(1)	(3)	(0)	(7)	(7)	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主)専」)及び 「基(専)」の計 (C')	助手 (C'')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主)専」)及び 「基(専)」の計 (D')	助手 (D'')
3	1	3	0	8	8	0	4	1	3	0	8	8	0
[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主)専」)及び「基(専)」の計」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主)専」)及び「基(専)」の計」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主)専」)及び「基(専)」の計(A')」欄には「一」を記入してください。
・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
教授：65歳 准教授、講師：60 歳	0 歳	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = 100\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{8}{8} = 100\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{7} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C'')}}{\text{設置時の計画(A'')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和6年)	・経営学部グローバル ビジネス学科の収容定 員未充足の是正に努め ること。	経営学部グローバルビジネス学科 の収容定員未充足の是正について は、全学で課題として共有し、新た な入学者増加策を講じている。 同学科教員による特別広報募集 チームを結成し、従来の広報募集体 制と活動内容を強化している。 広報重点校を選定し、新たに日本 語教育機関も含めて留学生への訴求 も積極的に行っている。 学科独自の留学特待制度を見直 し、人数枠と留学先を拡充して生徒 の多様なニーズに応えられる形に整 備した。 オープンキャンパスにおいて、学 科教員チームが丁寧な説明と親身な 個別相談の機会を増やし、同学科の 認知度向上と趣旨・目的の理解の促 進に努めている。 結果として、令和6年度の入学者 数は17名であり、入学定員20名を下 回ったが、志願者数41名、受験者数 34名、合格者数20名で、歩留率は前 年度の29%から85%に、入学定員充足 率は前年度の0.35倍から0.85倍に、 収容定員（80名）充足率は前年度の 0.21倍から0.48倍になった。（6）	引き続き、本学の職員及び学部・ 学科の教員が協力し、以下の施策を 中心に積極的に広報募集活動を推進 していくことで、収容定員の充足に 向けて努力していく。 ・学科独自の留学特待制度をさらに 見直し、特待ランクを増設すること で、より多くの留学志願者が財政的 支援を得られる形にする。 ・オープンキャンパスにおいて、学 科教員チームによる個別相談の機会 を増やし、同学科の認知度向上と趣 旨・目的の理解の促進に努める。 ・資料請求者やオープンキャンパス 参加者の出身校を特別広報募集チ ームが追加訪問し、学科説明と模擬授 業を行うことで学科の魅力訴求の機 会を増やす。 ・学校向け出張講義の項目に、同学 科の趣旨・目的を踏まえたキャリア 教育系の授業を新設し、広く案内し て実施する。 ・同学科の在学生・卒業生の活躍の 様子を効果的に訴求する。 ・以上の情報をホームページ・各種 媒体、学校訪問、オープンキャン パス等を通じて強く発信していく。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 デジタルビジネス・マネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD・SD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

必要に応じて開催。構成員：教員6名、職員3名

c 委員会の審議事項等

- ・ FD・SD推進のための企画及び実施に関する事。
- ・ FD・SDに関する報告書等の作成に関する事。
- ・ FD・SDに関する調査・研究に関する事。
- ・ 教育内容及び教育環境の改善に関する事。
- ・ 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関する事。
- ・ 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関する事。
- ・ 教育職員及び事務職員の大学運営についての資質開発を図るための組織的な研修に関する事。
- ・ その他、学長の諮問する事項等。
- ・ その他、FD・SDの推進及び委員会に関する事。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法についての研究
- ・ 学生による授業評価アンケートの企画・実施
- ・ 教員による授業参観の企画・実施
- ・ 学生指導要領の検討、特に中途退学防止について
- ・ 新任教職員のための研修会
- ・ 学外FD・SDフォーラム等研修会への参加

b 実施方法

- ・ 授業評価アンケートの企画・実施及び評価
- ・ 教員による授業参観の企画・実施及び改善事項の徹底
- ・ 全教員・職員のための研修会の企画・実施
- ・ FD・SD委員会において、教員・職員の資質向上に関する事項の検討
- ・ FD・SD委員会における懸念事項を各部長・学科長から教員・職員に伝達し情報を共有する
- ・ 内容により、全教員・職員対象の研修会の実施、または全教員・職員へのメール送信による徹底

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| ・ 新年度 教員オリエンテーション | R5. 04. 01 教職員研修36名参加 |
| ・ 広報会議 | R5. 04. 12 教職員・事務職員研修48名参加 |
| ・ 入試広報研修会 | R5. 05. 10 教職員・事務職員研修57名参加 |
| ・ 留学生事情・留学プログラム研修会 | R5. 07. 01 教職員研修41名参加 |

・春学期授業評価アンケート実施	R5. 07. 10～21 全授業対象
・学内研究発表会	R5. 07. 29 教職員研修34名参加
・生成AI、目標・学修支援アプリ「NPEAK」利用研修、 「指導死」講演、薬物乱用指導、学籍管理、他	R5. 09. 15 教職員研修23名参加
・認証評価、新学科設立について	R5. 09. 29 教職員・事務職員研修46名参加
・学生の進路決定サポートについて	R5. 10. 27 教職員研修31名参加
・研究倫理研修	R5. 11. 07 教職員研修35名参加
・公開授業	R5. 11. 01～30 全授業対象
・ハラスメント防止研修	R5. 11. 10 教職員・事務職員研修50名参加
・デジタルビジネス・マネジメント学科説明会	R5. 11. 21 教職員・事務職員研修54名参加
・秋学期授業評価アンケート実施	R6. 01. 09～19 全授業対象
・R5～R6年度 FD委員会自己点検評価（PDCA）の作成	R6. 01～02 全教員対象
・R6年度FDSD年間教育指導計画の作成	R6. 03 FDSD委員会
・R6年度新着任教員研修	R6. 03. 29 教職員研修23名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケート結果を各教員に配布し、授業の改善策、授業方法の工夫等を記入させた後、回収
- ・ 学生の視点に立った授業運営に努めるべく教員の意識向上
- ・ 学科所属教員の学科運営に関する意識の共有

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。春学期、秋学期とも学期末14～15週目に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート結果（改善策を記入済）を簿冊にして大学図書館に設置するとともに、大学ホームページ上に情報公開。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営学部デジタルビジネス・マネジメント学科は、これまで経営学部が担ってきた教育・人材育成上の役割や特色をより明確化し、経営学に立脚した学問体系、実務中心の教育体制を構築するとともに、近年進化の著しいデジタル分野及びデジタルを活用した経営やビジネスなど、デジタル進化の動向及びデジタルを活用したビジネスに精通し、高度な専門性を有しながら、広い視野に立ち、経営事象を識別・判断できる人材を育成し、経営についてより充実した教育研究活動を行うことを目的に、令和6年4月に東京渋谷キャンパスに開設したところである。

令和6年度の入学者は13名で、入学定員80名を下回った（入学定員充足率0.16倍）。同学科の学生募集の開始が令和5年10月からであったことが主な要因だと考えられるが、短期間ながら、同学科教員による特別広報チームを中心として、オープンキャンパスと学校訪問日程を追加し、各媒体を通じてデジタルビジネスに関心を持つ生徒・学校を対象に重点指向した結果によるものと思料する。

令和6年度は定員充足の課題を全学で共有・認識し、年間を通じた全教員・職員の広報募集活動に加えて、同学科教員チームによる学科訴求の取り組みをさらに強化すべく、DXハイスクールを始めとする重点校を選定して訪問するほか、資料請求者やオープンキャンパス参加者の出身校へも追加訪問し、学科説明と模擬授業を行うことで魅力を訴求している。オープンキャンパスでは同学科に特化した個別面談の機会を増やし、学科長を中心として念入りな説明を行っている。学校向け出張講義にも、同学科設立の趣旨・目的を踏まえたキャリア教育系の授業を新設して広く案内・実施している。

以上の取り組みをホームページ・各種ウェブメディア、学校訪問、オープンキャンパス等を通じて強く発信していくことで、認知度の更なる向上を図り、収容定員の充足に向けて努力していく。

同学科の設置の趣旨・目的については、学外へは大学ホームページ、大学案内、オープンキャンパス、入試説明会、学校訪問等を通じて周知されている。学内では、教授会、広報会議、FD・SD研修会、オリエンテーション、式典、ゼミ等を通じて教職員と学生に周知されており、理解と支持が得られている。

令和6年度中、就任予定であった基幹教員は全て予定通り着任し、開講予定授業科目はを全て開講しており、設置計画時の教育課程を実施できている。教員の退職者はなく、令和6年度は基幹（主）教員1名の採用を予定している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年3月 公表（予定）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和7年3月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和6年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [大学ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

日本経済大学

F D 委 員 会 運 営 規 程

(名 称)

第1条 本委員会は、F D委員会と称し、学長の指示を受け運営する。

(目 的)

第2条 本委員会は、本学の教育職員が教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動（以下「F D」という）を推進することを目的とする。

(任 務)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、F Dを推進するための活動を行う。

- (1) F D推進のための企画及び実施に関すること。
- (2) F Dに関する報告書等の作成に関すること。
- (3) F Dに関する調査・研究に関すること。
- (4) 教育内容及び教育環境の改善に関すること。
- (5) 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること。
- (6) 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること。
- (7) 教育職員の資質開発を計るための組織的な研修に関すること。
- (8) その他F Dの推進及び委員会に関すること。

(構 成)

第4条 本委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学部長、キャンパス長、教務部長、経済学科長、経営学科長、商学科長
経営法学科長及び健康スポーツ経営学科長、及び学長が指名する教員
- (2) 任期はこれを定めず、前項の役職就任と同時にF D委員に就任し、又、
役職を離れると同時にF D委員の任を解かれるものとする。学長が指名した
委員についての任期は学長の指示によるものとする。

(組 織)

第5条 本委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は各学部長とし、学部長間で互選する。各キャンパスにおいて、全学F D委員会とは別に、各キャンパスのF D委員会を設置することができる。その委員長は学長の指名による。

(審 議)

第6条 委員会の審議については次のごとく定める。

- (1) 委員長は必要に応じて本委員会を招集し、会議を主催する。

(2) 本委員会の審議に必要な資料等の作成には、教務部がこれにあたる。

(議 決)

第7条 本委員会は全委員の三分の二以上の出席により成立し、出席者の過半数の賛成をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(部 会)

第8条 委員会の下にFD推進部会を設置する。また、各キャンパスのFD委員会の下に各キャンパスのFD推進部会を設けることができる。

2 部会長及び構成員は委員長が指名する。

3 部会は、FD委員会からの委嘱事項について審議する。

(改 廃)

第9条 本運営規程の改廃は、委員長の発議により本委員会の議を経てこれを行うものとする。

附 則

この規程は平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成27年4月1日から施行する。

日本経済大学

S D 委員会運営規程

(名 称)

第1条 本委員会は、SD（スタッフ・ディベロップメント）委員会と称し、学長の指示を受け運用する。

(目 的)

第2条 本委員会は、本学の職員の資質の向上を図り、もって大学の運営に組織的に取り組む活動（以下「SD」という）を推進することを目的とする。

(任 務)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、SDを推進するための活動を行う。

- (1) SD 推進のための企画、及び実施に関すること。
- (2) SD に関する報告書等の作成に関すること。
- (3) SD に関する調査・研究に関すること。
- (4) 事務職員及び教育職員の大学運営についての資質開発を計るための組織的な研修に関すること。
- (5) その他、学長の諮問する事項等

(構 成)

第4条 本委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学部長、事務長、キャンパス長、事務次長、及び学長が指定する職員
- (2) 任期はこれを定めず、前項の役職就任と同時に SD 委員に就任し、又、役職を離れると同時に SD 委員の任を解かれるものとする。

(組 織)

第5条 本委員会に各キャンパス別の委員会を置く。各キャンパス別の委員長は各事務長とし、本委員会の委員長は、事務長間で互選する。学長の指示により、各キャンパス別の委員長、又は本委員会の委員長は、その職務を他の者に委嘱することができる。

(審 議)

第6条 委員会の審議については次のごとく定める。

- (1) 委員長は必要に応じて本委員会を招集し、会議を主催する。
- (2) 本委員会の審議に必要な資料等の作成は、庶務課がこれにあたる。

(議 決)

第7条 本委員会は全委員の三分の二以上の出席により成立し、出席者の過半数の賛成をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(改 廃)

第8条 本運営規程の改廃は、委員長の発議により本委員会の議を経てこれを行うものとする。

付則

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。